


香川県内経済情勢報告









令和6年10月
財務省四国財務局

香川県内経済情勢報告

	令和6年7月判断	令和6年10月判断	総括判断の要点	7月判断との比較
総括判断	持ち直しのテンポが緩やかになっている	緩やかに持ち直している	<p>個人消費は、物価上昇の影響がみられるものの、コンビニエンスストアが堅調となっているほか、観光も回復していることから、全体としては緩やかに持ち直している。</p> <p>生産活動は、汎用・生産用機械が一進一退の状況にあるものの、パルプ・紙が持ち直しつつあることから、全体としては緩やかに持ち直しつつある。</p> <p>雇用情勢は、持ち直している。</p>	 (5期ぶり 上方修正)

〔先行き〕

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかに持ち直していくことが期待される。ただし、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

項目	令和6年7月判断	令和6年10月判断	7月判断との比較
個人消費	持ち直しのテンポが緩やかになっている	緩やかに持ち直している	
生産活動	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	
雇用情勢	持ち直している	持ち直している	
公共事業	前年度を上回っている	前年度を上回っている	
住宅建設	前年を下回っている	前年を下回っている	
設備投資	6年度は前年度を上回る見込み	6年度は前年度を上回る見込み	

※ 6年10月判断は、前回6年7月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

個人消費

個人消費

緩やかに持ち直している

(5期ぶり上方修正)

- 百貨店・スーパーは、飲食料品や身の回り品等に動きがみられることから、全体としては堅調となっている。
- コンビニエンスストアは、米飯類や飲料等に動きがみられることから、全体としては堅調となっている。

〔主なヒアリング結果〕

「百貨店・スーパー」

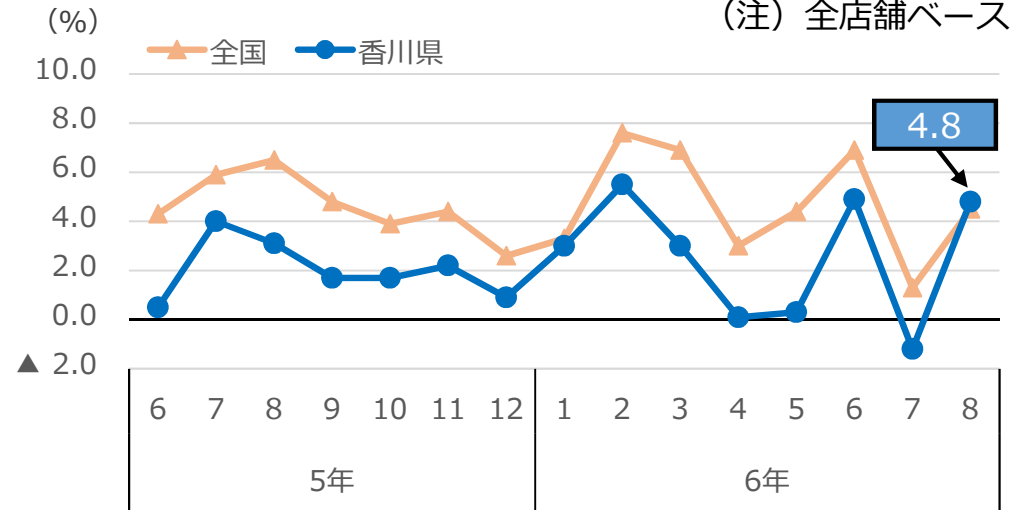
- 物価高や光熱費の高騰、食材の相場高を受けた節約志向から、少量の総菜や冷凍野菜が好調。
- 猛暑の影響で秋物衣料の動き出しが鈍かったものの、インバウンドの増加などから、ブランドバッグなどの高額品や化粧品が引き続き好調。

「コンビニエンスストア」

- 販売促進効果により、おにぎりやお弁当、ペットボトル飲料の売行きがよい。
- 気温が例年より高かったため、ソフトドリンクなどの飲料やアイスクリームの売上げが好調。

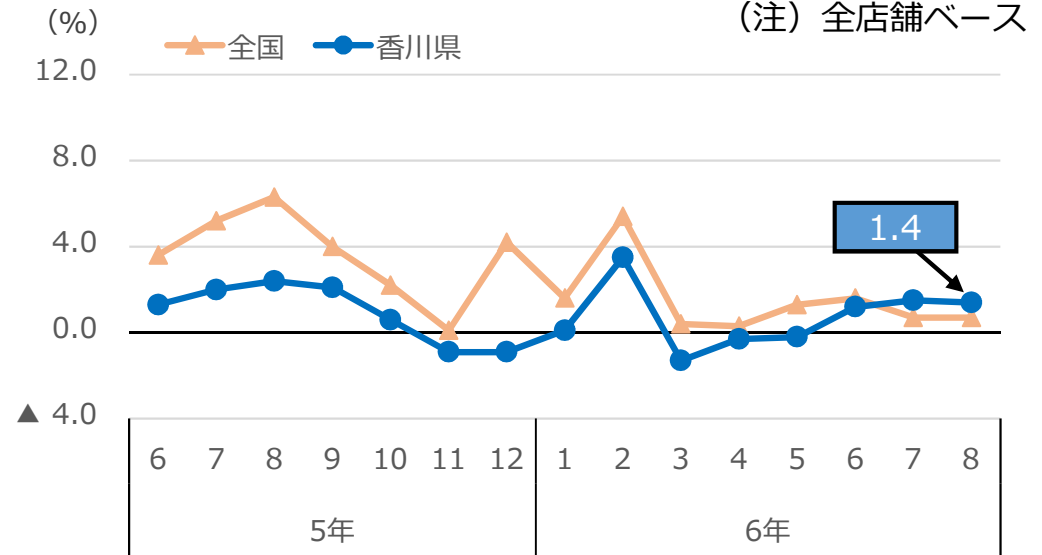
〔百貨店・スーパー販売額（前年同月比）〕

(注) 全店舗ベース



〔コンビニエンスストア販売額（前年同月比）〕

(注) 全店舗ベース



【出所】 経済産業省、四国経済産業局

個人消費

- ドラッグストアは、飲食料品や化粧品等に動きがみられることから、全体としては順調となっている。
- 家電大型専門店は、エアコンや一部の高付加価値製品に動きがみられることから、全体としては堅調となっている。
- ホームセンターは、季節商品や防災用品に動きがみられることから、全体としては堅調となっている。
- 乗用車の新車登録・届出台数は、普通車及び小型車は前年を上回っており、軽乗用車は前年を下回っていることから、全体としては前年並みとなっている。
- 観光は、外国人観光客の増加により、回復している。
- 国内旅行は、回復に向けたテンポが緩やかになっており、海外旅行は、緩やかに持ち直しつつある。

〔主なヒアリング結果〕

「ホームセンター」

- 猛暑の影響から季節商品が好調。地震や台風により、防災用品全般の売上げも伸びた。

「観光」

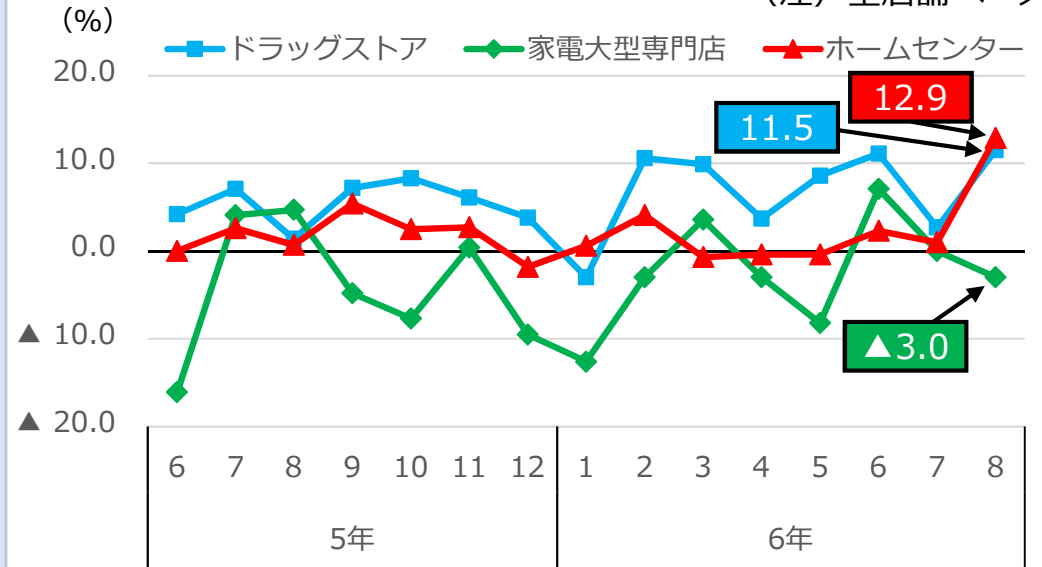
- 円安と直行便の効果が顕著。インバウンドの増加が好調に大きく寄与している。

「旅行」

- 国内旅行は、猛暑や物価高による節約志向等の影響を受け、需要回復に一服感がある。
- 海外旅行は、円安や燃油サーチャージの高騰が継続しているものの、リピーターや富裕層を中心とした需要があり、回復基調。

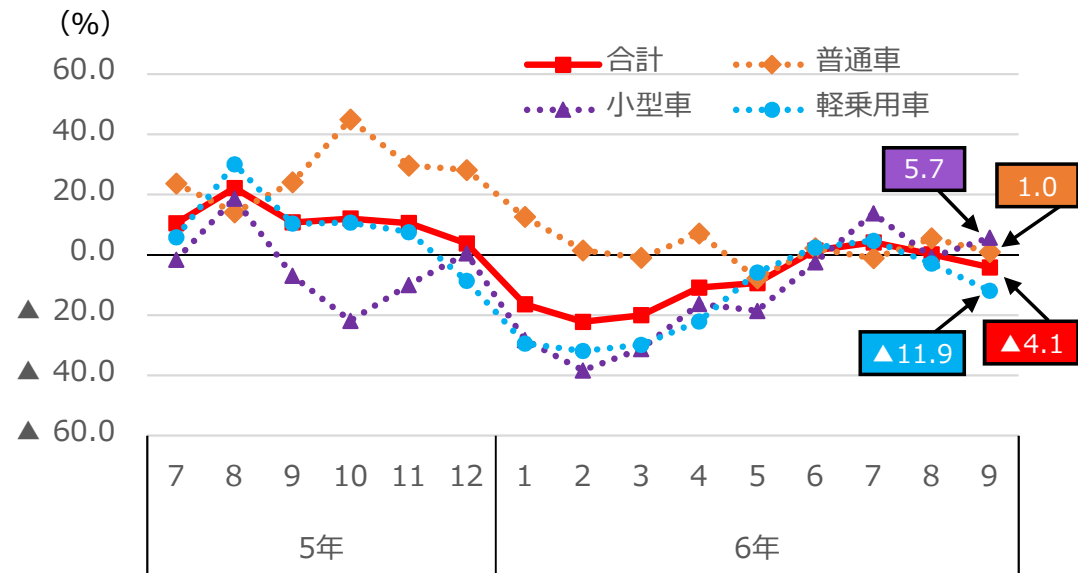
〔香川県の専門量販店販売額（前年同月比）〕

（注）全店舗ベース



〔出所〕四国経済産業局

〔香川県の乗用車新車登録・届出台数（前年同月比）〕



〔出所〕四国運輸局の公表データから算出 3

生産活動

生産活動

緩やかに持ち直しつつある

(据え置き)

- パルプ・紙は、衛生用紙を中心に持ち直しつつある。
- 食料品は、堅調な需要を背景に、緩やかに持ち直している。
- 電気機械は、電子部品の一部に動きがみられることから、一進一退の状況にある。
- 汎用・生産用機械は、需要は堅調であるものの、一部に弱さがみられることから、一進一退の状況にある。

〔主なヒアリング結果〕

「パルプ・紙」

- ベビーケア、大人用おむつ関連商品は引き続き好調。

「食料品」

- 価格据え置きの冷凍食品は人気が高く、受注状況は引き続き好調。

「電気機械」

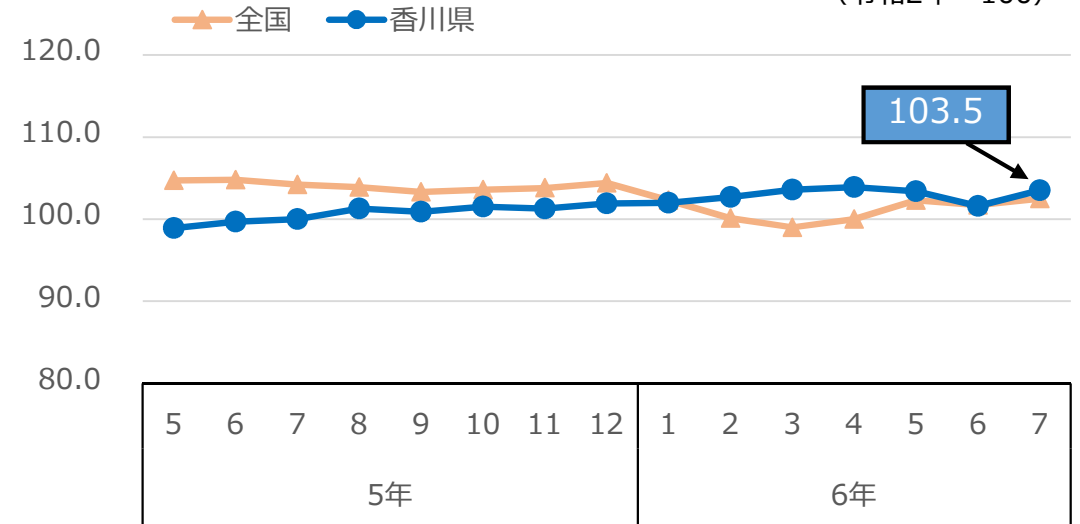
- 中国向けのスマートフォン電子部品について、在庫調整の長期化により減少していた受注が戻りつつある。

「汎用・生産用機械」

- 台風による自動車メーカーの工場稼働停止の影響により当期受注が減少。

〔鉱工業生産指数（季節調整済指数、3か月移動平均）〕

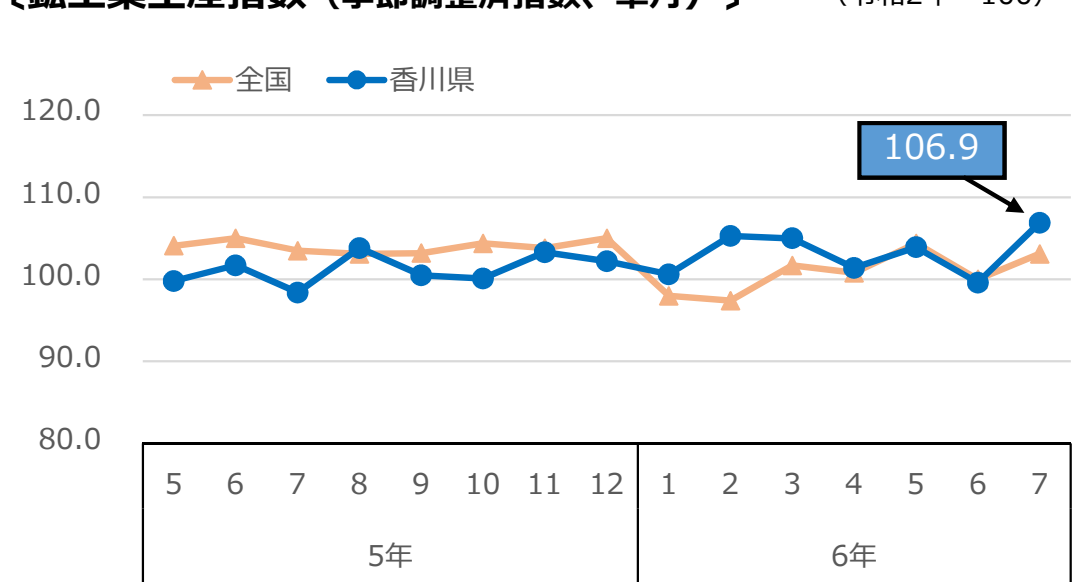
(令和2年 = 100)



〔出所〕経済産業省、香川県の公表データから算出

〔鉱工業生産指数（季節調整済指数、単月）〕

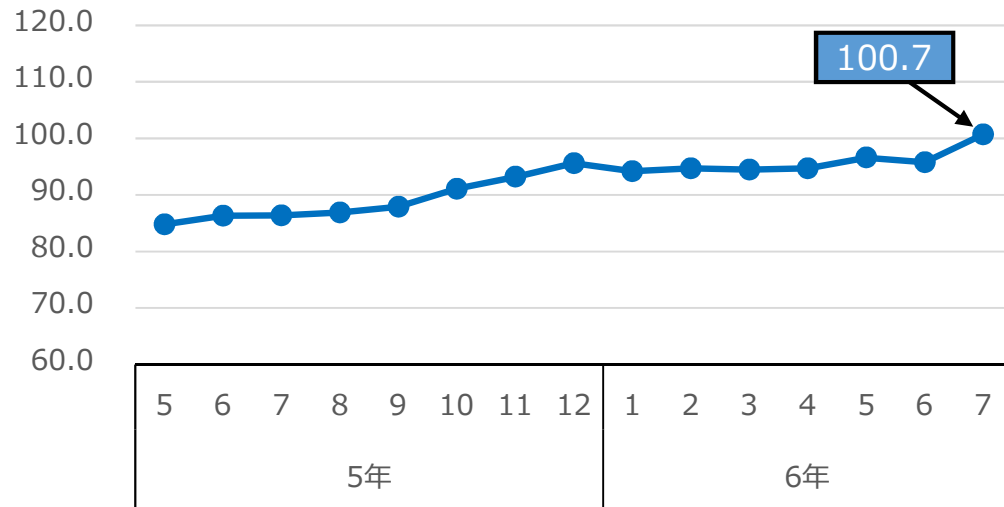
(令和2年 = 100)



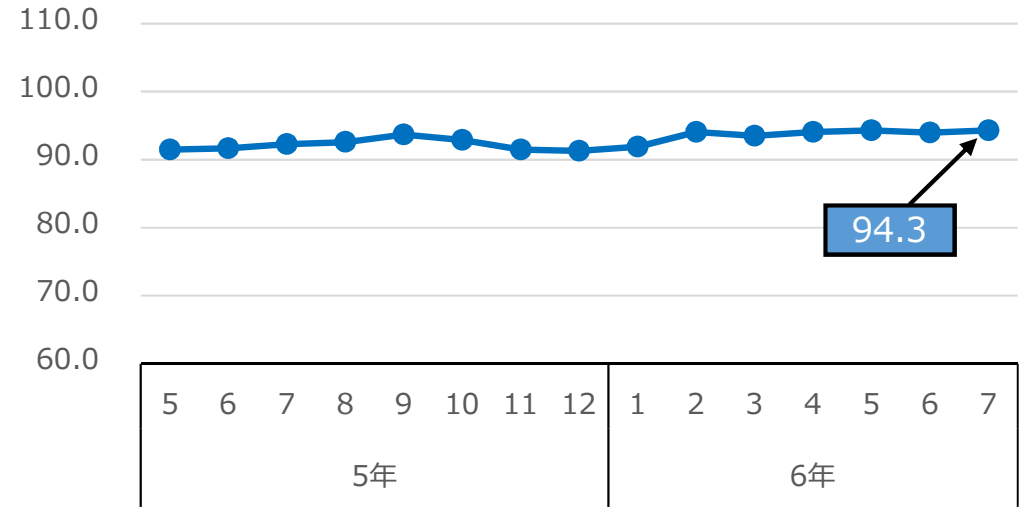
〔出所〕経済産業省、香川県

生産活動

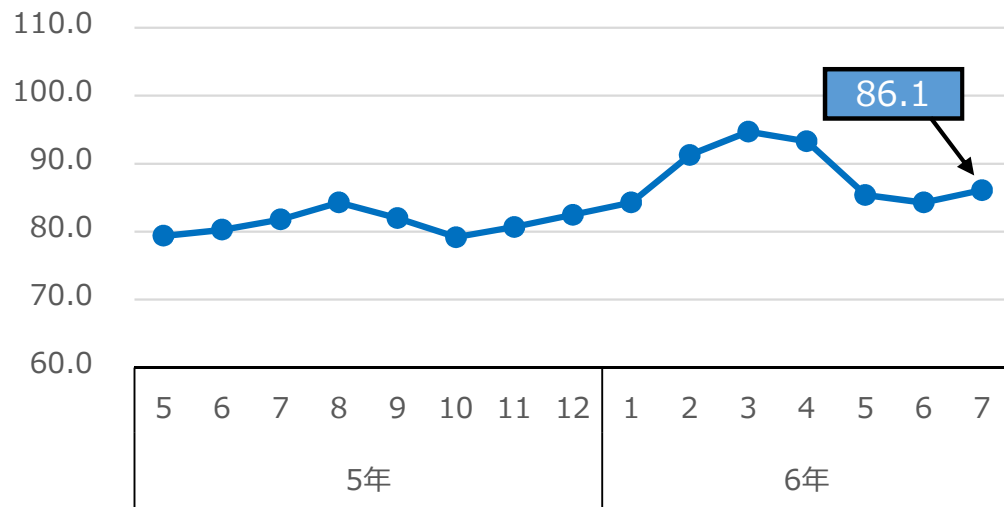
〔パルプ・紙〕



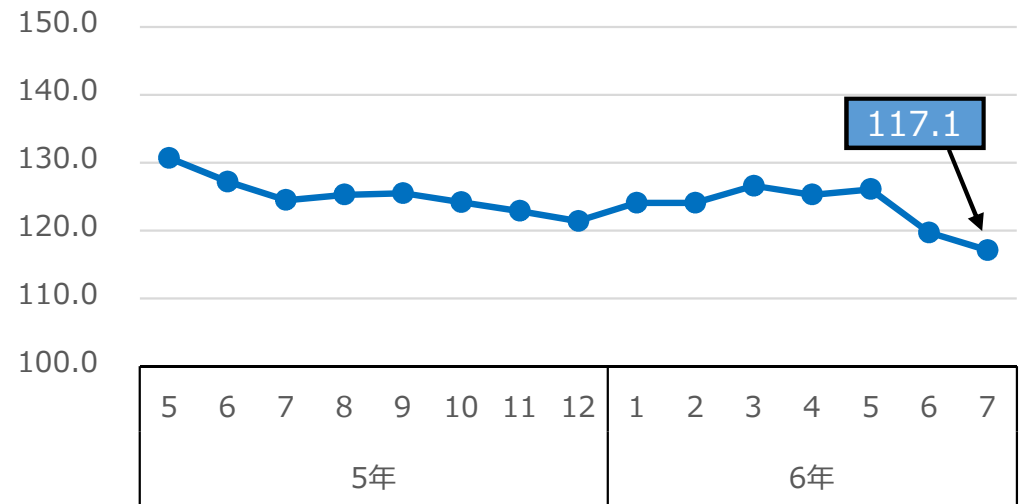
〔食料品〕



〔電気機械〕



〔汎用・生産用機械〕



(季節調整済指数、3か月移動平均、香川県：令和2年=100) 【出所】香川県の公表データから算出

雇用情勢

雇用情勢 持ち直している

(据え置き)

- 有効求人倍率は横ばいとなっている。
- 新規求人数は前年を下回っている。
- 法人企業景気予測調査の従業員数判断BSIをみると、9月末は全産業で44.4%ポイントと「不足気味」超となっている。

〔主なヒアリング結果〕

「公的機関」

○従来から人手が不足している医療、福祉業や、従業員の高齢化や技術者が不足している建設業を中心に求人数の増加がみられる。

○新規求人数の減少は、求人の提出時期のずれや前年より稼働日が少なかったことなどによるもので、様々な業種で人手不足の状態が続いている。

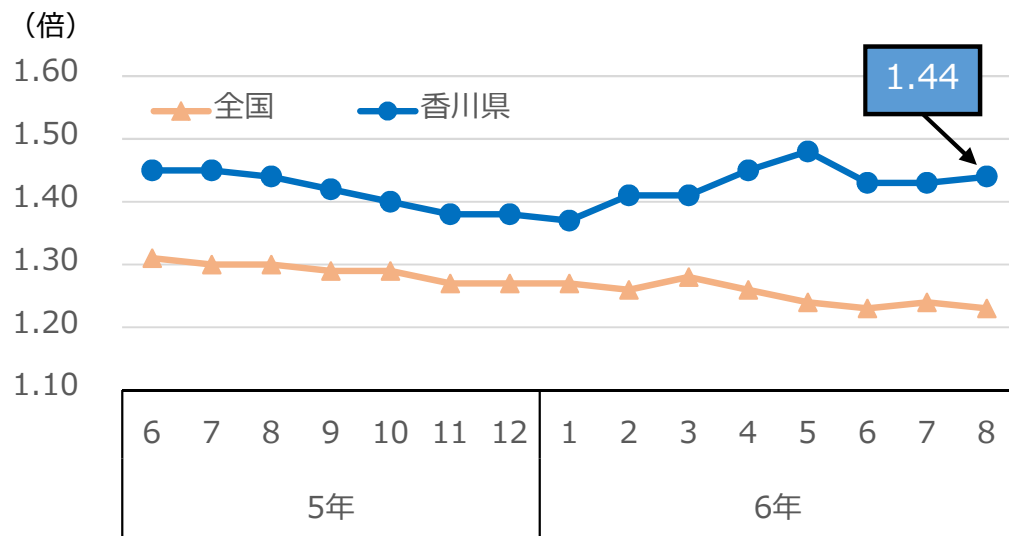
「建設」

○技術職を中心に人員が不足気味であり、受注を制限している。

「宿泊、飲食サービス」

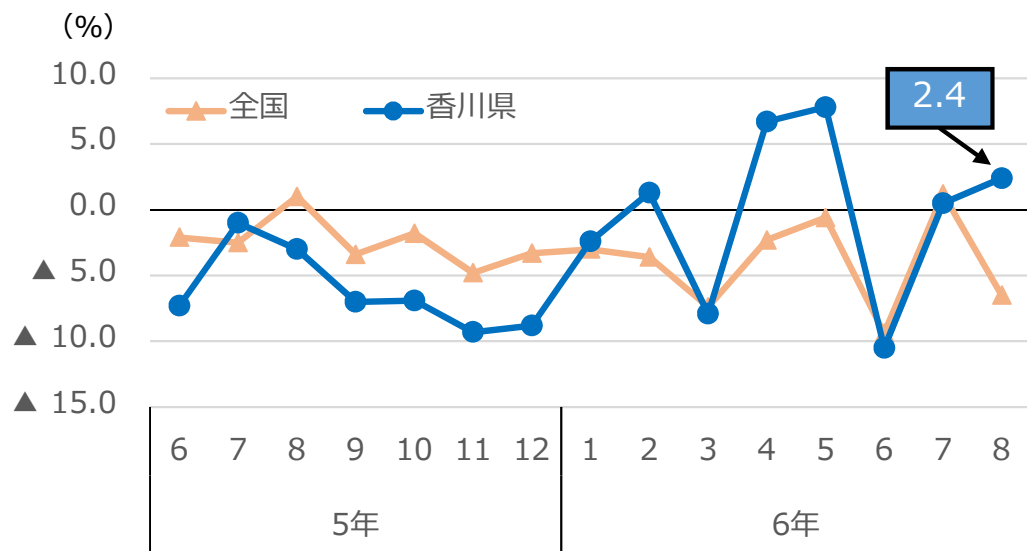
○退職者の補充が間に合っておらず、不足している人員は人材派遣で補っている。

〔有効求人倍率（季節調整値）〕



【出所】厚生労働省

〔新規求人数（原数値、前年同月比）〕



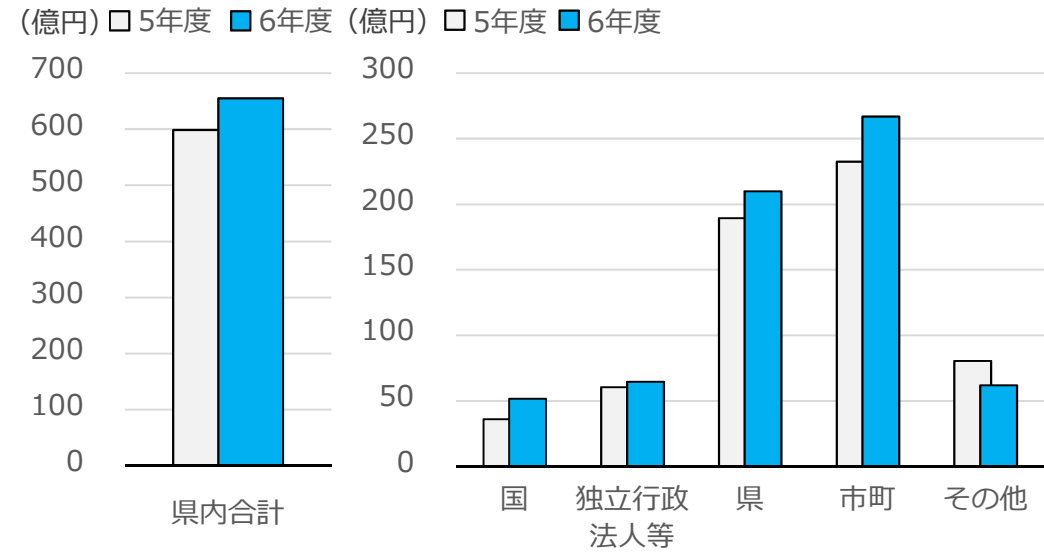
【出所】厚生労働省の公表データから算出

公共事業・住宅建設

公共事業 前年度を上回っている

○前払金保証請負金額で見ると、国、独立行政法人等、県及び市町は前年度を上回っており、全体としても前年度を上回っている。

〔香川県の公共工事前払金保証請負金額（9月累計額）〕

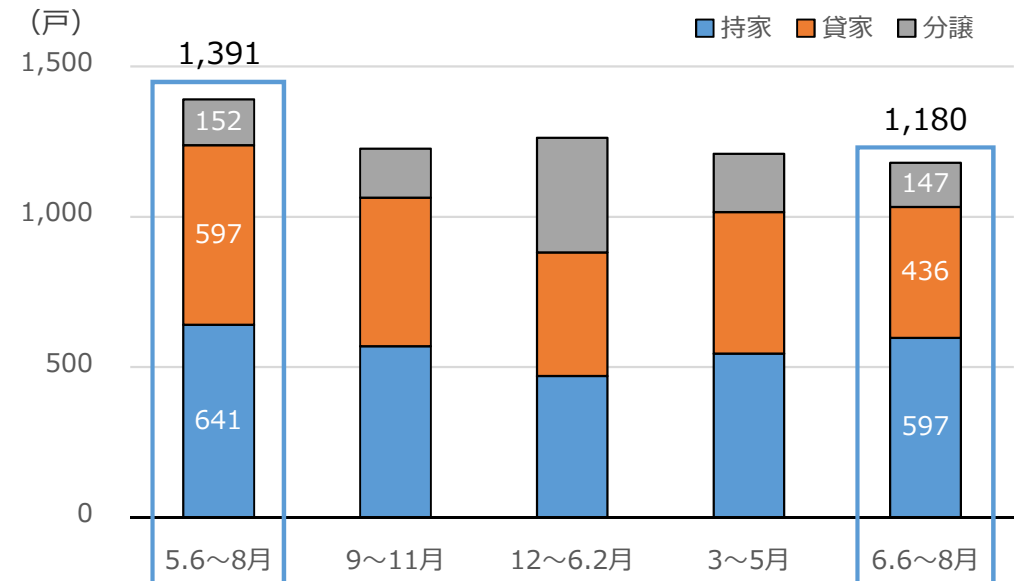


【出所】西日本建設業保証（株）等

住宅建設 前年を下回っている

○新設住宅着工戸数で見ると、持家、貸家、分譲のいずれにおいても前年を下回っている。

〔香川県の新設住宅着工戸数〕



※合計は給与住宅を含む 【出所】国土交通省の公表データから算出

設備投資 ・ (企業倒産) ・ (消費者物価)

設備投資

6年度は前年度を上回る見込み

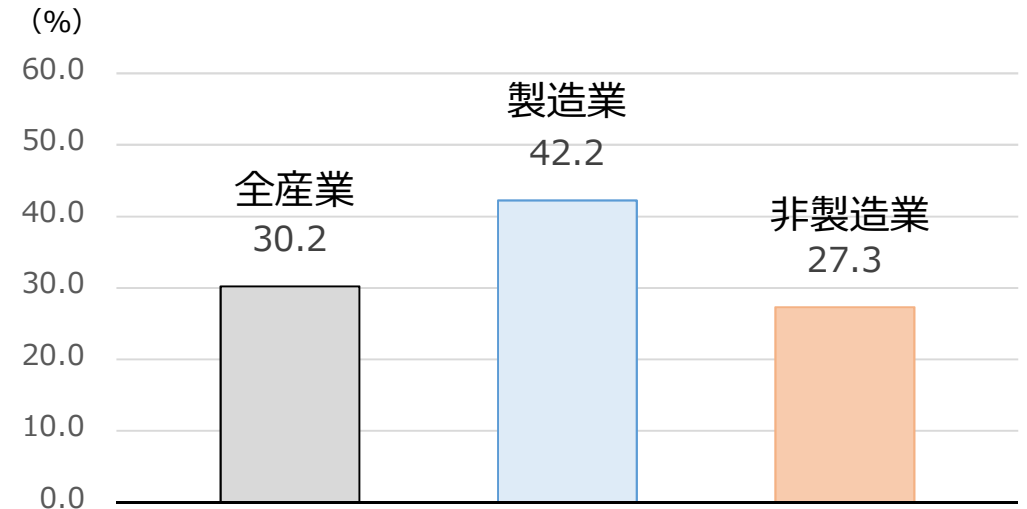
(企業倒産)

件数、負債総額ともに前年を上回っている

(消費者物価)

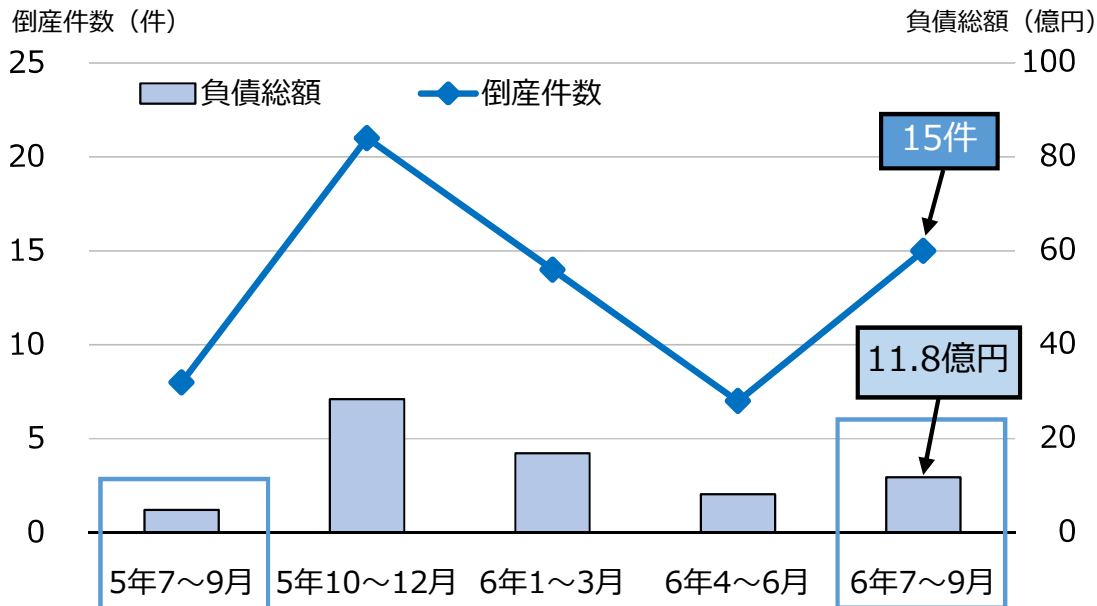
前年を上回っている

〔香川県の設備投資（前年度比）〕



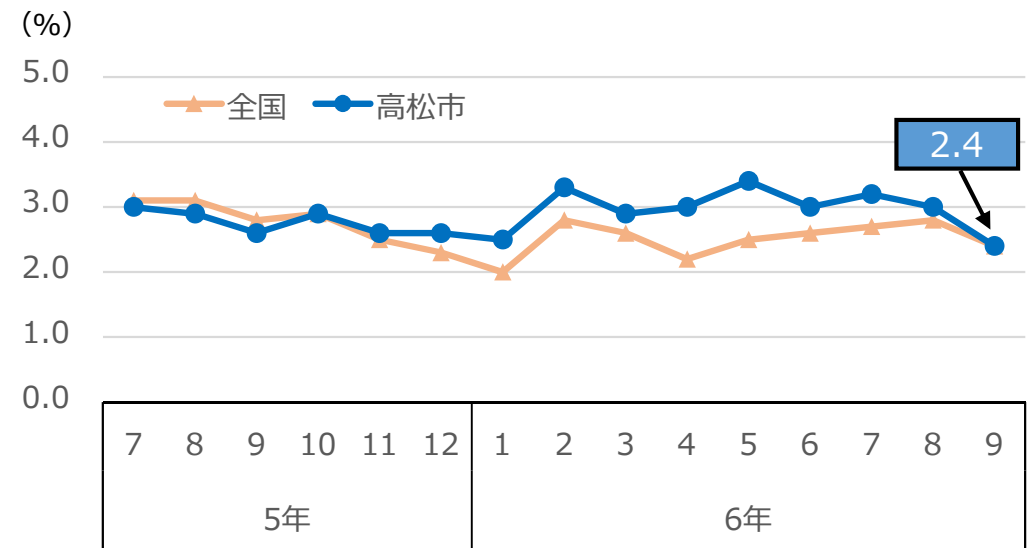
※6年7～9月期調査の結果
 ※ソフトウェア含む、土地除く 【出所】四国財務局（法人企業景気予測調査）

〔香川県の倒産件数・負債総額（負債額1,000万円以上）〕



【出所】東京商工リサーチの公表データから算出

〔消費者物価指数（生鮮食品を除く総合、前年同月比）〕



(2020年=100) 【出所】総務省

※計数は、季節調整替え、基準改定、速報の確報化、誤計数の判明等により、過去に遡って訂正される場合があるので、利用される場合は、各発表機関の直近の公表データをご確認ください。

■お問い合わせは

電話番号 087-811-7780

財務広報相談室（内線260）又は 経済調査課（内線250）へ

ホームページアドレス <https://lfb.mof.go.jp/shikoku/>

